

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

国際政治・経済分野

本研究科の大学院入試における論述試験では、受験生が専門分野の基本的知識を正確に理解し、自らの言葉で体系的に説明できるかを重視している。本問は学部段階で習得しておくべき基本的な主要概念・理論について説明する形式となっている。

各用語の説明には複数の考え方があるため、それらについて模範解答を提示すると過度に冗長となるため、本研究科では「採点の観点」を示す方式を採る。「採点の観点」を示すことで、受験生にとって、どのような観点から答案が評価されるかが明確になり、学習の指針としても活用しやすくなる。また、出題語句は学部専門課程レベルで広く参照される標準的な文献や学説に基づいて選定しており、受験生がそれらの知識を整理・統合して説明できるかを重視している。以下に本問の「採点の観点」を示す。

【論述問題】

基本的理解：地政経済学・地経学の基本的な視座を理解しているか。その視座から、台湾の地政学的な軍事的重要性と、海運とハイテクサプライチェーンの重要性が描けているか。それを米中対立に援用できているか。

表現構成：表現・構成：専門用語を適切に用い、論理的で簡潔な説明になっているか。

→ これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づいて評価する。

【用語解説】

(1) 概念成立の歴史的経緯と、国家はその生存・利益を最大化するという発想を記述できているか。

(2) 経済安保の多様な側面、例えば自国産業の強靱性、資源確保、物流とサプライチェーン、基幹技術の等が記されているか。

(3) パンデミックや軍事的要因によるサプライチェーン寸断がもたらす問題を記述できているか。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

経営分野

1 採点では、設問の趣旨を理解し、論点に的確に答えるとともに、一貫した論理構成で説得力のある記述となっているかを評価基準とする。設問の性質上、多様な答えが想定される。

この問いに関しては、地政学リスクや文化、法制度、商習慣の違い、商品やサービスの現地化、仕入れ・調達の問題、人材の採用や育成、さらには現地パートナーとの協働などの課題について、具体的な企業の海外展開事例を示しつつ、説得的に論じられているかを評価した。事業展開上の課題については、すべてを挙げる必要はなく論点を絞って構わないが、論理的かつ多面的な考察ができているかを評価する。

2 (採点の観点) 大学院において経営に関する研究を遂行するにあたって必要となる用語について、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づき評価する。

(1) 企業を統治するためのルールあるいはプロセスのこと。不祥事を防ぎ、収益力を高める目的がある。企業の信頼を形成する骨格であり、企業の価値向上やステークホルダーの利益を保護するために不可欠である点が述べられているとよい。

(2) 巨大企業が新興企業に対して競争力を失う理由を説明した企業経営の理論。既存事業の成功に固執することにより、新たな技術や市場への対応が遅れてしまうことによる。「持続的イノベーション」と「破壊的イノベーション」の違いを明確にし、成功体験が新しい市場や技術への対応を妨げる逆説性が説明できるとよい。

(3) 災害や経済環境などの変化に直面しても、迅速・柔軟に対応し、持続的に成長できる能力。VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代においては、従来のリスク管理だけでは十分ではなく、変化を契機に持続的に成長できるかが重要になっている時代背景も含めて説明できるとよい。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

法律分野

1

権利能力とは、権利を有し義務を負担することができる資格のことをいう。自然人である人間（以下、「人」という。）は誰しも生まれながらに平等に権利能力を有する。権利能力を有することにより、人は自由意思に基づく法律行為を行うことにより、必要な財を入手し、サービスの提供を受けることができる。しかし、幼い子供や認知症等により、自己の行為の法的な結果を認識・判断できない者による行為は、自由意思によるものとはいえ、有効な法律行為としては評価できない。このような自己の行為の法的な結果を認識・判断することができる能力を意思能力といい、この能力を欠く者の行った法律行為は無効とされる。このように意思能力を欠く者の法律行為が無効とすることにより、その拘束から解放し意思能力を欠く者を保護するが、意思能力の有無は個別・具体的に判断されるため、その判断が困難な場合も少なくない。このため、意思能力を欠く者が十分に保護されない場合や無用な紛争が生じることにもなりかねない。そこで、民法は判断能力を欠く者や不十分な者を定型化し、保護するための制度として、行為能力の制度を設けている。すなわち、保護を必要とする者を制限行為能力者とし、未成年者・成年被後見人・被保佐人・被補助人という4つの類型を設け、保護者を付け、その保護者が代理して行為をなし、また、その保護者の同意なき行為を取り消すことができるとしている。

2

(1)

プライバシーの権利は、「宴の後」事件の判決において、「私生活をみだりに公開されない法的保障ないし権利」として、憲法によって基礎付けられた権利として認められ、その後、最高裁判決によって憲法上の権利として確立された。現在では、「自己の情報をコントロールできる権利」として把握されるのが一般的である。

(2)

司法権が立法権及び行政権から独立していることであり、特に裁判官の職権の独立、すなわち、裁判官が裁判を行うにあたりいかなる圧力や干渉を受けずにその職責を果たすことが司法権の独立の核心であり、裁判官の身分保障がその実効性を確保する。

(3)

未遂犯とは、犯罪の実行に着手したが結果が発生せず、犯罪が完成しなかった場合をいう。このうち、自己の意思により犯罪の実行を中止したものを中止犯という。未遂犯は裁量により刑が減輕されるにすぎないが、中止犯は刑が必ず減輕又は免除される。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

国際保健分野

以下の点が述べられていると良い：

- (1) COVID-19 の教訓を踏まえ、パンデミックの予防・備え・対応を国際的に制度化し、情報共有、早期警戒、WHO の調整機能を強化した点で、国家主権を前提としつつ、各国の責任と協力を明確化したことに意義がある。
- (2) ワクチン、治療薬、診断薬への不平等なアクセスへの反省から、技術移転、能力強化、利益配分を条約に組みこみ、低・中所得国を含む公平な対応を目指した点は意義深い
- (3) 条約の法的拘束力や遵守メカニズムの弱さ、先進国と途上国の利害対立、財政支援や技術移転について十分詰められていないこと、米国が関わっていないことなどから、パンデミックが起こった際に実際にどのくらい機能するかわからないという課題がある。

問題 2. 以下の用語について簡潔に解説しなさい。

(1) $U = U$

Undetectable = Untransmittable、HIV 感染者が治療によりウイルス量を検出限界未満に維持していれば、性行為で他者に HIV を感染させないという科学的知見。

(2) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

全ての人々が、経済的困難に陥ることなく、必要な予防・治療・リハビリなどの保健医療サービスを受けられる状態のこと。

(3) 合計特殊出生率

ある年の年齢別出生率が一生続くと仮定した場合に、一人の女性が 15 歳から 49 歳の間産むと見込まれる子供の平均人数を示す指標。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

社会福祉分野

1

- ① 基本的理解：DX(デジタルトランスフォーメーション)の定義を的確に示し、その概要を説明しているか。
 - ② 社会福祉政策の理解：社会福祉政策の目的、方法、制度、実態などについて述べているか。
 - ③ 社会福祉における様々な課題解決のためにDXがどのような役割を担い、貢献することが可能であるかについて述べているか。
 - ④ 表現・構成：専門用語を適切に用い、論理的で簡潔な説明になっているか。
- これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づいて評価する。

(解答例)

社会福祉政策におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)とは、ICTやデータ活用を通じて福祉サービスの提供方法や行政運営を抜本的に変革し、より効率的で利用者中心の仕組みを実現する取り組みを指す。単なる業務のデジタル化にとどまらず、制度・組織・サービスのあり方そのものを再設計する点に特徴がある。現在の社会福祉分野は、少子高齢化による需要増大、担い手不足、地域間格差、複雑化する支援ニーズなど多くの課題を抱える。DXはこれらの課題解決に大きく貢献し得る。例えば、オンライン相談やAIによるリスク検知は早期支援につながり、自治体間でのデータ連携は切れ目のない支援体制を構築する。介護現場ではセンサーやロボットの活用により職員の負担軽減とサービス質の向上が期待される。さらに、エビデンスに基づく政策立案(EBPM)を可能にし、限られた資源を最適に配分できる。DXは福祉の持続可能性を高め、誰もが必要な支援を受けられる社会の実現に寄与する。

2

- ①基本的理解：ノーマライゼーションの定義を的確に示し、「障害のある人が特別な場に隔離されるのではなく、社会の中で他の人と同じように“普通の生活”を送れるようにすることを目指す福祉理念」であることを説明しているか。
- ②ノーマライゼーションの背景の理解：ノーマライゼーションは1950～60年代の北欧で、障害者が大規模施設に収容されていた状況への反省から生まれ、バンク＝ミケルセンらによって体系化されたことについて触れているか。
- ③社会福祉政策との関連：ノーマライゼーションは、「一般的な生活条件」を保障することを重視し。施設中心から地域生活中心への転換を促す基盤となっている理念であることを示しているか。
- ④表現・構成：専門用語を適切に用い、論理的で簡潔な説明になっているか。
- ⑤→ これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づいて評価する。

(解答例)

ノーマライゼーションとは、障害のある人が特別な場に隔離されるのではなく、社会の中で他の人と

同じように「普通の生活」を送れるようにすることを目指す福祉理念である。1950～60年代の北欧で、障害者が大規模施設に収容されていた状況への反省から生まれ、バンク＝ミケルセンやニィリエによって体系化された。ノーマライゼーションは、生活リズム、住環境、教育、労働、余暇など、日常生活のあらゆる側面において「一般的な生活条件」を保障することを重視する。これは、障害の有無にかかわらず、地域で暮らし、社会参加し、人生の選択肢を持つことを可能にするための考え方である。日本でも障害者基本法や地域移行政策などに取り入れられ、施設中心から地域生活中心への転換を促す基盤となっている理念である。

(2) ソーシャルインクルージョン

- ①基本的理解：ソーシャルインクルージョンの定義を的確に示し、「社会の中で排除されがちな人々を孤立させず、誰もが社会の一員として参加できる状態を実現することを目指すこと」であることを説明しているか。
- ②ソーシャルインクルージョンの特徴：貧困、障害、外国籍、高齢、ひとり親など、さまざまな理由で社会参加が妨げられる人々に対し、単なる保護や支援にとどまらず、社会の側が参加しやすい環境を整え、生活のあらゆる領域で「排除の解消」と「参加の促進」を図る点が特徴であることについて触れているか。
- ③ノーマライゼーションとの関連：ノーマライゼーションが“普通の生活条件の保障”を中心に据えるのに対し、ソーシャルインクルージョンは“社会的排除の構造を変え、包摂的な社会をつくる”ことに焦点を当てる福祉理念であることを示しているか。
- ④表現・構成：専門用語を適切に用い、論理的で簡潔な説明になっているか。
- ⑤→ これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づいて評価する。

(解答例)

ソーシャルインクルージョンとは、社会の中で排除されがちな人々を孤立させず、誰もが社会の一員として参加できる状態を実現することを目指す理念である。貧困、障害、外国籍、高齢、ひとり親など、さまざまな理由で社会参加が妨げられる人々に対し、単なる保護や支援にとどまらず、社会の側が参加しやすい環境を整えることを重視する。教育、雇用、医療、住まい、文化活動など、生活のあらゆる領域で「排除の解消」と「参加の促進」を図る点が特徴である。また、ノーマライゼーションが“普通の生活条件の保障”を中心に据えるのに対し、ソーシャルインクルージョンは“社会的排除の構造を変え、包摂的な社会をつくる”ことに焦点を当てる。多様な人々が互いに尊重され、共に暮らす社会を実現するための現代的な福祉理念である。

(3) ソーシャルワーク

- ①基本的理解：ソーシャルワークの定義を的確に示し、「生活上の困難や社会的問題を抱える人々が、自立した生活を営み社会参加できるよう支援する専門的実践」であることを説明しているか。
- ②ソーシャルワークの特徴：対象は個人だけでなく、家族、集団、地域社会まで広がり、貧困、障害、高齢、虐待、家族問題など多様な課題に対応するもので、単なる問題解決ではなく、本人の持つ力を引き出し、環境との関係を調整することで生活全体を改善する点にあることについて触れている

か。

③ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョンとの関連：ソーシャルワークは、利用者の尊厳と自己決定を尊重し、社会的排除を防ぎ包摂的な社会を実現するという理念を基盤としており、ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンとも密接に関連する実践であることを示しているか。

④表現・構成：専門用語を適切に用い、論理的で簡潔な説明になっているか。

⑤→ これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「背景知識の理解」「記述の明瞭さ」に基づいて評価する。

(解答例)

ソーシャルワークとは、生活上の困難や社会的問題を抱える人々が、自立した生活を営み社会参加できるよう支援する専門的実践である。対象は個人だけでなく、家族、集団、地域社会まで広がり、貧困、障害、高齢、虐待、家族問題など多様な課題に対応する。ソーシャルワークの特徴は、単なる問題解決ではなく、本人の持つ力を引き出し（エンパワメント）、環境との関係を調整することで生活全体を改善する点にある。また、相談援助や権利擁護、地域づくり、制度改善など、ミクロからマクロまで多層的に働きかけることが求められる。さらに、利用者の尊厳と自己決定を尊重し、社会的排除を防ぎ包摂的な社会を実現するという理念を基盤としており、ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンとも密接に関連する実践である。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

グローバル・コミュニケーション論（英語）分野

1

著作権の関係により公表できません

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

グローバル・コミュニケーション論（中国語）分野

本研究科の大学院入試における論述試験では、受験生が専門分野の基本的知識を正確に理解し、自らの言葉で体系的に説明できるかを重視している。本問は学部段階で習得しておくべき基本的な主要概念や理論、専門用語を用いて、2種類の訳文の相違や特徴に対する自らの考えを述べる形式となっている。着目する相違や特徴、自らの考えのまとめ方には複数の経路が想定され、それらについて模範解答を提示すると過度に冗長となるため、本研究科では「採点の観点」を示す方式を採用。「採点の観点」を示すことで、受験生にとって、どのような観点から答案が評価されるかが明確になり、学習の指針としても活用しやすくなる。また解答で必要な語句は学部レベルで広く参照される標準的な文献や学説に基づいて選定しており、受験生がそれらの知識を整理・統合して説明できるかを重視している。以下に本問の「採点の観点」を示す。

〈採点の観点〉

- ①基本的理解：「起点テキスト」(Source Text, ST) と「目標テキスト」(Target Text, TT) の定義を正確に理解し、原詩と2種類の日本語訳の関係を説明できているか。
- ②相違や特徴の把握：2種類の日本語訳の相違や特徴を的確に把握し、言及できているか。
- ③表現・構成：指定された専門用語を適切に使い、論理的で明瞭な記述になっているか。
- ④中国語による要約の正確さ。

→これらの観点を総合し、「定義の正確さ」「訳文の理解」「記述の明瞭さ」「中国語能力」に基づいて評価する。

2025 年度夏季入試 【専門科目】 解答例

グローバル・コミュニケーション論（日本語）分野

問い1

タスクベース型の授業とは、学習者が実際のコミュニケーション場面で使う言語を、課題（タスク）への取り組みを通じて習得する授業形式のことである。【定義】

授業は、学習者が自律的に考え、協働して課題を達成することを重視し、学習者主体で進行する。実際の使用場面に近い形で言語を使うため、実践的な運用力が身につきやすい。また、教師主導で文法項目や文型を習得する文型ベース型の授業と違い、正確さよりも流暢さが重視されている。【特徴】

※下線が指定の用語

問い2

タスクベース型の授業には、次のような問題点がある。

問題点1：課題達成重視である一方、学習者が学習項目を体系的に学ぶことは重視されないため、全体像が把握しにくい。

問題点2：教師主導ではなく学習者主体である。そのため特に初級の場合、心理的・認知的な面で学習者の負担が大きい。

問題点3：課題達成のプロセスや成果物が評価対象となる。ペーパーテストでは測定できないものも多く、評価基準があいまいになりやすい。

指導上の注意点：課題達成に使用した文法や語彙について明示的に復習する機会をつくる。特に初級の場合、すべてをタスクベース型にするのではなく部分的に導入するようにする。ルーブリック評価やポートフォリオを用いる。

※下線が指定の用語